

巻頭言

埼玉から
イノベーション創出を

埼玉県知事

大野 元裕

ONO Motohiro

埼玉県は人口減少・超少子高齢社会の到来という歴史的課題に直面しています。この歴史的課題に敢然と立ち向かい、乗り越えていくためには、社会全体の生産性を向上させていく必要があります、イノベーションの創出が不可欠です。

そこで、県では、約500もの企業の創立・育成に携わった埼玉県出身の偉人である渋沢栄一翁が、適切な人をマッチングすることで企業を成長に導いたことに倣い、人々が出会い・混ざり合い・つながることで新たなイノベーションが共創される場として、本年夏、「渋沢MIX」

をさいたま新都心駅直結のビル内に開設します。

渋沢MIXでは、3つのコンセプトを掲げています。

1つ目は、「オープンイノベーションの創出・促進」です。企業や大学、自治体等、様々な主体のアイデアや技術、リソースを組み合わせ、新しい発想で課題解決を図る、オープンイノベーションの創出を促進します。

2つ目は、「スタートアップの創出・成長支援」です。本県が持続的に発展していくためには、これまでにない新たな製品やサービスの開発に果敢に挑戦するスタートアップが不可欠であり、その創出と成長を支援します。

3つ目は、「イノベーションを担う人材の育成」です。将来のイノベーションの担い手となる学生起業家や、企業内におけるイノベーションをけん引するイントラプレナー人材を育成します。

これらの取組を推し進めていくためには、産学官の連携がこれまで以上に重要となります。埼玉大学をはじめとした産学官の多様な主体がそれぞれの強みを生かして、相互に連携、共創することにより、イノベーションを次々と生み出していけるよう、渋沢MIXが各主体をつなぐハブとなり、持続可能なエコシステムを構築してまいります。

本県の持続的な発展に向けて、産学官ワンチームで取り組んでまいりたいと考えておりますので、埼玉大学産学官連携協議会の会員の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS >>>

01	巻頭言
02	活動報告 「第25回埼玉大学産学交流会テクノカフェ」
03	活動報告 「埼玉大学オープンカンパニー」
04	活動報告 「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「データサイエンス技術研究会」 「金属積層造形技術研究会」「人と協働するロボット技術研究会」 「スタートアップ・新規事業創出研究会」「防災DX研究会」
07	活動報告 「3D-CAD&3Dプリンター研修」
08	活動報告 「令和6年度埼玉りそな産業経済振興財団産学官連携セミナー」「令和6年度埼玉大学特別公開講座」
09	会員企業訪問記 「埼玉県信用金庫」
10	新会員紹介
12	オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

>> 活動報告

Report

01

「第25回埼玉大学産学交流会テクノカフェ」を開催

埼玉大学産学官連携協議会では、2024年11月5日(火)に 第25回埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催しました。協議会会員企業・団体の他、会員外企業、大学教職員及び学生等、122名の方に参加いただきました。

今回のテクノカフェは「スタートアップの機運醸成に向けて」とテーマを掲げ、スタートアップ事例や最新の研究シーズの紹介を通じ、新たなヒントを発見いただく場にしたいと計画いたしました。埼玉大学総合研究棟1号館シアター教室及び展示ホールを実会場とし、対面形式で実施しております。本学学生・教職員の関心を高める取り組みとして、展示ホールにおいて講演内容同時上映を行い、気軽に立ち寄ってもらえる場を提供しました。第24回(2023年開催)と比較して、学外参加者数は約15%増加し高い関心を寄せていただきました。



開会挨拶(増田文治会長)



学長挨拶(坂井貴文学長)

第1部では、埼玉大学産学官連携協議会 増田文治会長の開会挨拶、坂井貴文埼玉大学長の挨拶に次いで、大学教員研究成果等の事例発表が行われ、3人の研究者から、最新の研究トピックスについて講演がありました。各研究について、短時間ではありますがわかりやすい説明をいただき、大学院理工学



基調講演

研究成果等事例発表
(長谷川有貴准教授)

研究科の中でも電気電子系、情報系から化学系まで多岐に渡る研究内容が紹介されました。参加者からは、“今後も埼玉大の新進気鋭の研究者の方々の発表をして欲しい”“難易度は高いが、必要な研究だと思う、実装に期待したい”とのご意見をいただいております。

コーヒープレイクでは、展示ホールにおいてポスター展示を行い、研究成果事例、新会員企業・団体、協議会研究会の活動内容等を紹介いたしました。また、3D-CAD&3Dプリンター研修の映像を上映し、大学のリスキリングの取り組みに触れていただく機会となりました。

続く第2部では、基調講演が行われました。株式会社Relic 代表取締役CEOの北嶋貴朗氏から「イノベー

ションの再現性を高める新規事業開発マネジメントの要諦」と題し、ご講演いただきました。ビジョンや戦略の有無にとどまらず、挑戦が継続する組織文化の創生、不確実性に応じた事業開発プロセスの重要性など、新規事業開発における課題整理と解決のためのアプローチが示されました。参加者は北嶋氏の熱い講演に熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われました。

第3部交流会(懇親会)には、80名を超える方に参加いただきました。会員企業の協同商事様のご協力をいただき、COEDOビール各種を楽しみながら、名刺交換や歓談の時間を持ちました。

産学交流会テクノカフェは、今後も産業界、学術界、行政関係者の皆様方が活発に交流できる場をご提供できるよう開催してまいります。次回以降も皆様のご参加をお待ちしています。

学内教員研究成果等の事例発表 (発表順)

「e-Nose(電子鼻)によるビールのオフフレーバー評価」
「車載カメラからランドスケープの変化を検出する」
「安全安価な白色系無機固体による空気中からのCO₂回収」

大学院理工学研究科 数理電子情報部門
大学院理工学研究科 数理電子情報部門
大学院理工学研究科 物質科学部門

長谷川 有貴 准教授
堤田 成政 准教授
柳瀬 郁夫 准教授



研究成果等事例発表
(堤田成政准教授)



研究成果等事例発表
(柳瀬郁夫准教授)



基調講演
(Relic/北嶋貴朗氏)

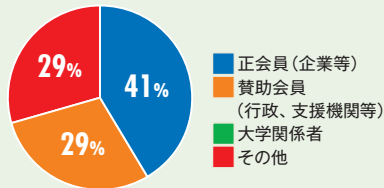


コーヒーブレイク



交流会(懇親会)

参加者内訳



ご意見・ご感想(参加者アンケートより)

- 新規事業創出については、正に悩んでいるところ。「多産多死」を認める組織作りという点が興味深かったです。
- 発表～展示～コーヒーブレイク～講演と進め方が良かったです。
- 企業の事例発表・大学との連携事業はとても参考になります。専門性が高い内容もありましたが、イメージしやすく時間配分も調度よく聞きやすかったです。
- オープンイノベーションの県内企業の取り組みなどお伺いしてみたいです。

Report

02

「埼玉大学オープンカンパニー」を実施

2026年3月卒業(修了)予定の学生を対象とした埼玉大学オープンカンパニー(主催:埼玉大学キャリアセンター/運営協力:株式会社NeXT STAR)が、2025年2月17日(月)～21日(金)の5日間にわたり開催されました。これまで3月1日から合同企業説明会を開催していましたが、学生の要望や参加企業等の皆様からのお声を反映し、2022年度より2月に企業等の特徴や業務等を理解する「オープンカンパニー」として実施しております。このオープンカンパニーは学生へ業界・企業研究の機会を提供するもので、当協議会においては会員企業の人材確保支援事業と位置付けています。参加希望企業の増加に伴い、枠の関係上お断りせざるを得ない状況もありますが、会員企業は必ずご参加いただけます。また、運営を専門業者(株式会社NeXT STAR)に委託することに

より、参加費用は有料となっておりますが、会員企業特典として3万円の値引を継続実施しております。

今回のオープンカンパニーについては、オンラインでの説明が主となり、参加企業はLIVE配信により学生へ企業・業界のPRを行いました。リアルでは学内にセミナー配信ルームを設置し、来場特典を設ける取り組みも実施されました。また、埼玉大学との対談セミナーやキャリアバディ講座等、採用側と学生に寄り添った運営を目指しました。

全体参加企業数130社のうち、会員企業からは20社にご参加いただきました。オープンカ

ンパニーのポータルサイト上では、埼玉大学産学官連携協議会会員企業にマーキングを行い、差別化を図りました。企業にとって人材確保の重要性が増している現状を踏まえ、今後とも学生・企業の双方に有益な場となるよう目指してまいります。



2月18日 企業紹介・タイムスケジュール	
開催時間	メインルーム
10:00～10:45	HCDO(株) No.027 【IT・ソフトウェア】(対象:文系・理系・医学)
10:55～11:40	(株)ベルニクス No.028 【電機・電機部品】(対象:文系・理系)
A1ルーム	
11:50～12:20	JFE鋼板(株) No.029 【鉄鋼・金属・建築】(対象:文系・理系)
12:30～13:00	宇都宮市役所 No.030 【行政・公務員】(対象:文系・理系)
13:10～13:40	東京エレクトロン(株) No.031 【電機・電子部品】(対象:文系・理系・医学)
13:50～14:20	AKKODISコンサルティング(株) No.032 【コンサルティング・システム】(対象:文系・理系・医学)
14:30～15:00	Sky(株) No.033 【IT・ソフトウェア】(対象:文系・理系)
15:10～15:40	安田倉庫(株) No.034 【物流・倉庫・運輸】(対象:文系・理系)
B1ルーム	
11:50～12:20	中央コンピュータ(株) No.035 【IT・ソフトウェア】(対象:文系・理系)
12:30～13:00	住友商事マシックス(株) No.036 【機械・金属・建築】(対象:文系・理系)
13:10～13:40	エルクス(株) No.037 【IT・ソフトウェア】(対象:文系・理系)
13:50～14:20	戸田市役所 No.038 【行政・公務員】(対象:文系・理系)
14:30～15:00	（株）リジナルコンサルティング No.039 【コンサルティング・システム】(対象:文系・理系)
15:10～15:40	日清ソリューションズ No.040 【物流・倉庫・運輸】(対象:文系・理系)

説明会参加企業20社

株式会社アイネット	AKKODIS コンサルティング株式会社	エルクス株式会社	株式会社オリジン
株式会社サイサン	株式会社埼玉りそな銀行	酒井重工業株式会社	サンメーケミカル株式会社
シグマ光機株式会社	株式会社システムインテグレータ	株式会社芝浦電子	信越ポリマー株式会社
株式会社シンミドウ	株式会社タカインフォテクノ	日清紡マイクロデバイス株式会社	株式会社ビットマイスター
株式会社フコク	株式会社ベルニクス	株式会社モリタ東京製作所	理研計器株式会社

>> 活動報告

Report

03

埼玉大学産学官連携協議会研究会報告

埼玉グリーンインフラSDGs研究会

代表：藤野 毅(大学院理工学研究科・教授) 事務局：村井 亮介(産学官連携コーディネーター)

農と食の展示・商談会2025(さいたまスーパーアリーナ/コミュニティアリーナ、2025年2月5日)に今年もモリンガを出展しました。とても盛況で研究会ではブースに立ち寄られた67名にモリンガに関するアンケートを実施しました。6割以上が栄養価の高さについて、また3割がCO₂吸収能力の高さを認識されていました。初めて研究会の活動を聞いた方を含め、モリンガを活用したビジネスに関心があると答えた方は9割に達し、半数がモリンガを活用した食品の開発・製造販売であり、また食品以外の活用(圃場整備・栽培活動・資機材提供等)での関与に関心がある方も多くいました。

2024年12月10日に研究機構棟・研修室にて第2回の研究会を開催しまし

た。本年度で4年目を迎え、目的および活動について現活動に合わせた見直しを行いました。活動報告として、代表の藤野研究室に所属の大学院生から5件の研究報告がなされました。また、初参加の持木准教授から脱炭素推進部門の活動紹介がなされた他、株式会社小松屋石田社長のご子息である石田航一郎さんから見沼田圃の昆虫標本の紹介がありました。

最後に、メンバーのジーピック合同会社・サッカードットコム株式会社が「さいたま市をグリーンインフラ先進



地域に〜見沼田圃産モリンガの挑戦〜」と題してさいたま市版SOIP(スポーツオープンイノベーションプラットフォーム)に採択されました。モリンガ栽培のステークホルダーがさらに広がっています。

データサイエンス技術研究会

代表：平松 薫(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

2024年度後半の1回目は、埼玉大学教育機構基盤教育研究センターの市川裕介教授に講師をお願いし、「テキストデータの解析と産業応用」と題して実施しました。(2024年10月10日(木)開催)



テキストデータは、メール、営業日報、各種報告書、顧客アンケートやカスタマーサポートの応答記録など、身近に存在する文字で書かれた情報であり、時間とともに徐々に蓄積されていくデータの一つです。この分析によって、様々な知見が得られることが

期待されますが、分析が容易な表形式の数値データとは異なり、さまざまな前処理が必要となります。研究会では、講義とGoogle Colabを使ったハンズオン演習を組み合わせ、テキストデータの前処理の基本から分析結果の可視化までを、わかりやすくご紹介いただきました。

また2024年度後半の2回目は、「生成AIの仕組みと使い方」と題して実施しました(2025年3月6日(木)開催)

前半の座学で、ChatGPTに代表される自然言語処理系の生成AIでは、質問の入力の仕方により得られる結果が大きく変化することを紹介し、後半のグループワークで、参加者それぞれがうまくいった事例・うまくいかな

かった事例を共有し、背景事情も含めて議論していただきました。

この3年間、多くの方々に研究会にご参加いただくことができました。代表として、皆様のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。今後も、皆様の業務に役立つ新たなヒントや最新技術に関する情報を発信していく予定です。引き続き、ご参加をお待ちしております。



金属積層造形技術研究会

代表：金子 順一（大学院理工学研究科・教授） 事務局：宇田川 秀幸（産学官連携コーディネーター）

金属積層造形（AM）技術は新たなものづくり技術として欧米だけでなく国内でも注目され、多種の製品製造へ導入が進んでいます。しかし、実用化を進めるにあたり設計・加工・品質保証など各段階において様々な技術的課題があり、産学連携が重要であると認識しています。

第8回研究会を2025年2月4日（火）に埼玉県産業技術総合センターにて実施しました。当センターは埼玉県デ

ジタルものづくり研究会を主宰しており、当会との共催という形で実施されました。そのため会員以外にも多くの方にご参加いただきました。当日は金属積層造形技術研究会の情報交換会として、参加した委員からこれまでの金属積層造形に関する取り組みや市場動向などお話しいただき、技術動向を共有しました。そのほか大陽日酸株式会社の尾山様から最新の技術動向や活用事例についてご紹介いただき

ました。埼玉県産業技術総合センターの南部様からは埼玉県デジタルものづくりの活動報告やセンターの見学を実施していただきました。



当研究会は本年度の活動をもって一区切りとなります。会員の皆様に高い関心をお寄せいただき、これまで活動することができましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。



人と協働するロボット技術研究会

代表：小林 貴訓（大学院理工学研究科・教授） 事務局：藤山 斉（産学官連携コーディネーター）

昨年度から活動を始めた「人と協働するロボット技術研究会」の第3回目の研究会を2025年2月28日（金）に開催し、企業を中心とした31名の方々の参加を頂きました。



研究会では、まず、群馬大学の福田悠人氏に、「人と協働するロボットとしてのクルマのHMI研究」と題して、自動車の運転支援機能を例として、ユーザへの潜在的な危険性の通知手

法についての研究事例をご講演頂きました。停車中の車両の陰から人が飛び出す可能性などの潜在的な危険性をドライバーに提示することで、注意を促す方法について分かりやすくご説明頂きました。人と協働するロボットの振る舞いが見える化する取り組みの一例としても大変興味深い内容でした。

次に、筑波大学の山田亮佑氏に「数式から創る、安心・安全なロボット視覚のための画像認識AI」と題してご講演頂き、前回の研究会から引き続き、AI開発における「学習データ」の可能性と危険性について議論しました。ご講演では、学習データに係る課題を、数式に基づいた公平で利便性の高い学習データを利活用することで解決する取り組みについてご紹介頂き、活発な議論が行われました。非常に先進的

な内容でしたが、平易にご説明頂き、大変興味深いご講演となりました。

本研究会では、技術的な内容だけでなく、センシング技術やロボット技術の活用の可能性について、様々な分野の企業の皆様と意見交換をさせて頂きたいと考えております。研究会へのご意見・ご要望をお待ちしております。



スタートアップ・新規事業創出研究会

代表：赤羽根 康男（オープンイノベーションセンター・客員教授）、本間 俊司（オープンイノベーションセンター・教授） 事務局：藤山 斉（産学官連携コーディネーター）

2024年11月27日（水）、第2回 スタートアップ・新規事業創出研究会が、埼玉大学総合研究棟1号館シアター教室・ホールにて開催されました。当日は、学外からの参加者37名、学生17名、教職員18名の計72名が集まり、スタートアップ支援やアントレプレナーシップ教育についての議論が活発に行われました。



当日は、埼玉大学におけるアントレプレナーシップ教育への取組、スタートアップ支援の現状、および県内での



新規事業創出の取り組みについて紹介が行われ、大学発スタートアップの動向なども共有されました。講演後のディスカッションでは、参加者同士が積極的に意見を交わし、起業に関する課題や支援策について多角的な視点から考察が深められました。

また、情報交換会では学生も交えた交流が行われ、異なる分野の専門家や起業を志す若者たちが活発に意

見を交換する場となりました。産学官の垣根を越えたネットワークの構築が促進され、今後の連携や協力の可能性が広がる貴重な機会となりました。

今後も本研究会では、スタートアップや新規事業創出に関する

情報共有やネットワーキングの場を提供し、イノベーションの創出を支援していきます。次回の開催についても、ぜひご期待ください。



防災DX研究会

代表：齊藤 正人（大学院理工学研究科・教授） 事務局：金谷 康弘（産学官連携シニアコーディネーター）

主な活動として2024年11月12日（火）に「防災DX研究会セミナー ～防災活動の最新動向を学ぶ～」を開催しました。本セミナーでは、デジタルテクノロジーを活用した地域防災の取り組みや研究動向について、地域自治体の防災担当者や地元企業の皆様と情報共有し、地域防災の向上に貢献することを目指しています。

今回は、防災DX事例紹介として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の多嘉良朝恭様より「市民参加型防災のご提案」と題して、ソーシャルネットワーキングへの投稿情報を様々な防災フェイズで活用する技術や事例についてご紹介を頂きました。またMS&ADインターリスク総研株式会社の堀江啓様より「災害予測情報の活用に向けて」と題して、地域や社会の防災・減災を支援するWEBサー

ビスの最新情報や災害予測情報の活用事例等の話題提供を頂きました。埼玉大学からはレジリエント社会研究部門の堤田成政准教授より「人工衛星観測データをもちいた洪水浸水域推定」と題した研究事例紹介がありました。また、水害被害地域の迅速かつ正確な把握を実現するための、衛星観測網を活用した先端技術の解説を

頂きました。

本セミナーは34名のご参加があり、防災DXに関する活発な質疑応答が展開されました。またアンケートでは、「最新の技術動向について、知識を得ることができた」「人脈形成できた」などと好評でした。今後も継続してセミナーを開催する予定です。



>> 活動報告

Report

04

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」実施報告

■ 開催方法の変更と成果

2024年度は、研修の開催方法を「半日(4時間)×2日間」から「7時間×1日」へと変更して実施しました。その結果、延べ325名の方からお申し込みをいただき、1回あたりの平均受講申込者数は約10名となりました。これは2023年度の平均申込者数7名を上回るものであり、おかげさまで大変盛況のうちに全日程を終了することができました。この結果から、今年度の開催方法は一定の評価を得られたものと考えております。

■ 講師陣について

埼玉大学大学院理工学研究科の阿部准教授や、埼玉大学総合技術支援センターの技術職員をはじめとしたプロフェッショナルな講師陣によって進められました。

■ 特別編その1:

「知恵と工夫で自助具作成」

2024年度の新たな取り組みとして、埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科の小池准教授と、埼玉大学の阿部准教授の連携により、「知恵と工夫で自助具作成」コースを開催しました。本コースは、医療・福祉の現場で働く方々を対象とし、障がいを持つ方のQOL(生活の質)向上に貢献する道具作りを学ぶ研修です。今回はペットボトルキャップオープナーを題

材に実施しました。

通常、応募者が少なくなる傾向のある月曜日の開催にもかかわらず、11名のお申し込みがあり、高い関心が寄せられました。この結果を踏まえ、今年度(2025年度)の研修構想立案時の検討材料として活用していく予定です。



■ 特別編その2:

「プログラミング研修」

また、特別編その2として「プログラミング研修」を開催しました。本研修では、「3D-CAD」を用いたブラケットのモデリングに加え、マイコンのプログラミングを通じて、反射型赤外線センサーのセンシング結果をLINEで管理者へ通知するプログラムを作成しました。

本研修への受講申込の増加により、DX技術の前段階となる「現象を可視化する技術」に対する関心の高さを改めて確認することができました。

■ 今後の方向性

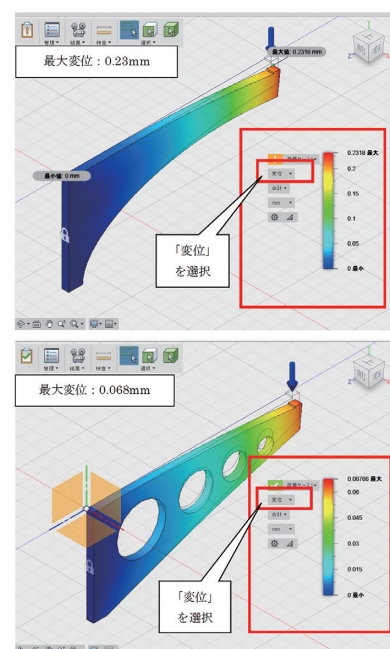
これらの特別編の結果や、従来の3D-CAD&3Dプリンター研修コースへの受講申込状況やアンケート結果



を踏まえ、受講生のニーズを分析しつつ、来年度(R7)で12年目を迎える3D-CAD&3Dプリンター研修の良い点を維持しながら、新たなコア研修科目の開発を検討してまいります。

特に、受講申込者数の増加は受講者の関心の高さと考えており、その意味では2024年度では、一定の評価が得られたと考えております。しかし、その一方で、余暇時間を活用したワークショップ的な参加者も増えたことにより、受講者の基礎スキルにばらつきが生じ、研修進行に影響を及ぼす場面も見受けられました。

そのため、2025年度は「高度ものづくり人材育成」という本来の目的を再確認し、企業からの受講者を増やすことで、実務に直結する研修運営となるように改善してまいります。



>> 活動報告

Report

05

「令和6年度埼玉りそな産業経済振興財団産学官連携セミナー」を後援

公益財団法人埼玉りそな産業経済振興財団主催の産学官連携セミナーが2025年1月24日(金)埼玉大学において開催されました。「未来を創るものづくりセミナー」のテーマのもと、幅広い業種・業界から43名に参加いただきました。産学官連携協議会は本事業を後援いたしました。



第1部では、はじめに「大型金属3Dプリンティングによる高付加価値化」と題し、埼玉大学大学院理工学

部研究科 阿部壮志准教授が講演を行いました。続いて、埼玉大学大学院理工学研究科 田所千治准教授より「機械のなめらかな運動を実現するための計測技術と設計技術」のテーマで講演を行いました。最後に、「レーザスライシング技術による硬脆材料の精密切断」と題し、埼玉大学大学院理工学研究科 山田洋平准教授が研究内容を紹介しました。いずれも機械工学系の3教員ですが、異種金属積層、振動制御、レーザスライシングとそれぞれ異なるアプローチで研究シーズを解説し、参加者から好評を得ました。アンケートには「直近の技術動向を知ることができ、大変興味深かった」「実際に研究室を見学してみたい」「自社事業に関連するテーマ



なので課題解決に役立てたい」といった感想をお寄せいただきました。

第2部の交流会では、講演者を中心に、参加者が相互に情報交換を行いました。名刺交換や講演内容への質疑等を通じ、充実した交流の場となりました。

ものづくり現場の状況が日々変化する現代において、産官学金による新たな価値創造や多様化する社会への臨機応変な対応が一層重要度を増すものと考えられます。

Report

06

「令和6年度埼玉大学特別公開講座」を後援

一般社団法人埼玉県経営者協会主催「令和6年度埼玉大学特別公開講座」が、2025年3月10日(月)ソニックシティビル会議室において開催されました。同協会会員を中心に28名に参加いただきました。産学官連携協議会は本事業を後援いたしました。

埼玉県経営者協会 廣澤健一専務理事の開会挨拶に次いで、埼玉大学より3名の教員が講演を行いました。

第1部では「ポスト『失われた30年』」と題し、埼玉大学大学院人文社会科学



研究科 長田健教授から講演いただきました。急速なデジタル化によ

り生産性の高まったシンガポールと日本の比較から、日本企業に求められる動き等について考察がありました。

続く第2部では、埼玉大学大学院人文社会科学研究科 高端正幸准教授から「公・共・私のリバランス ～縮退の時代の財政学～」のタイトルでご



講演いただきました。直近の日本の動向から税制の問題を探り、財源の充実を阻むものは何か、現代の日本財政をめぐる一つの重大な問いが提起されました。

第3部では、「民法改正の事業承継に与える影響 ～親族内承継を中心と

して～」と題し、埼玉大学大学院人文社会科学研究科 江口幸治准教授



から講演いただきました。事業継承は人と資産の継承であり、民法の制度が関わる事業継承の場面や、親族内継承で重要となる事前準備等が紹介されました。

最後に埼玉大学オープンイノベーションセンター小林裕一センター長から参加者に向け大学を大いに活用していただきたい旨の閉会挨拶がありました。

埼玉県経営者協会と埼玉大学の連携は今後も継続して実施予定です。

会員企業訪問記

学生レポーター

四島梨恵 阿部晴人
安斎尊 有馬七海
大沢雪瞳 栗原俊太郎
関根大和
経済学部江口ゼミナール 2年

『地域と共に成長する、聞き上手な存在へ』

埼玉縣信用金庫



COMPANY PROFILE

所在地: 熊谷本部 埼玉県熊谷市久下4-141 さいたま営業本部 さいたま市浦和区常盤5-15-15
設立: 1948年2月1日
出資金: 218億円(2024年3月現在)
代表者: 理事長 池田 啓一
事業内容: 金融業

Interview

01

概要

埼玉縣信用金庫は埼玉県熊谷市に本部を構える金融機関です。本店が県内に存在する信用金庫の中では最も広範囲に営業を展開しており、『さいしん』の愛称で親しまれています。県内全域に店舗があり、地域に密着したきめ細かいサービスを行っているのが最大の特徴です。「地域とともに成長する」企業として、誇りを持って業務に従事している職員の皆様の大変貴重なお話を伺ってきました。

Interview

02

TOPICS

企業理念

埼玉縣信用金庫は、「地域の発展に貢献します」、「お客さまの夢と共に歩みます」、「挑戦と誇りに満ちた職場を創造します」を理念としています。これらの理念を念頭にお客様に寄り添い、「聞く」ことを重視するという営業スタンスを展開しています。企業の人手不足といった、一見本来の業務とは関連性が見られないような課題についても お客様に耳を傾けることで企業の課題解決に繋げ、地域全体の活性化促進に尽力しています。＜さいしん理念＞を通じてお客様を尊重する姿勢が強いこと、地域貢献への取り組みが職員の方々のやりがいや原動力となっていることを感じました。

成長戦略



同信金は、融資業務や資産運用等のアドバイスに加えて、事業承継、相続業務、自治体等の連携を通じて、より一層地域の方に寄り添い貢献しています。また、特徴的な取り組みの1つとして「さいしんまちづくりファンド」があります。埼玉県内の中心市街地活性化や歴史的建築物の保全と魅力の向上を支援しています。現在は県内9つのエリアに限定していますが、今後も対象地域の拡大に努めていくと伺いました。このような地域に密着した取り組みが信頼の獲得に繋がっています。

じました。また、職員の方々は温かみがあり、リラックスした雰囲気でお話をしている場面が多く、同信金の人と人との繋がりを重視する姿勢は職員同士でも同様であると窺うことができました。その他にも、職場内にはネクタイを着用しないカジュアルな服装の



方が多く見られ、金融業界の「堅苦しい」イメージとは良い意味で異なる姿が印象に残りました。

おわりに

今回の企業訪問では、仕事のやりがいや、日常では知ることのできない金融業の業務内容など、これから就職活動を行う私たち学生にとって大変貴重なお話を多く伺いました。

お忙しい中、どのような些細な質問にも丁寧に回答していただいた職員の皆様に心より感謝申し上げます。

Interview

03

学生目線

まず職場内の居心地の良さが印象に残りました。営業店の窓口の方をはじめ、職員の皆様が親切に対応されていることが印象的で、初めて訪れる方も安心して相談できると感



新会員紹介

01

株式会社コーセー

当社は、“美の創造企業”として、独自の高い付加価値を持つ化粧品の開発や製造販売を行っています。コーポレートメッセージ「美しい知恵、人へ、地球へ」には、美にまつわるあらゆる知恵を出し合い、人々のために、そして大切な地球のために役立てるという決意が込められています。

- ① 製造業（化粧品）
- ② 東京都中央区日本橋3-6-2
- ③ 03-3273-1511
- ④ 1946年（昭和21年）3月2日
- ⑤ 代表取締役社長 小林 一俊
- ⑥ 美しい知恵、人へ、地球へ



コーセー製品開発研究所

02

株式会社Relic

Relicは、創業以来4,000社・20,000件以上の実績を持つ、日本企業の新規事業開発やイノベーション創出を支援する「事業共創カンパニー」です。「インキュベーションテック事業」、「事業プロデュース/新規事業開発支援事業」、「オープンイノベーション事業」という3つの柱となる事業を統合的に展開しています。不確実性をはらんだ新規事業を少しでも再現性高くマネジメントし、成功確率を高めるためのご支援をします。

- ① 情報通信業
- ② 東京都渋谷区恵比寿4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー 19F
- ③ 03-6455-0735
- ④ 2015年（平成27年）8月
- ⑤ 代表取締役CEO 北嶋 貴朗
- ⑥ 大志ある挑戦を創造し、日本から世界へ 想いを持った挑戦者と共に走り、共に創る



03

独立行政法人日本貿易振興機構 埼玉貿易情報センター

国内51ヶ所、海外76ヶ所のネットワークを通じて、皆様の海外展開や、国際的なオープンイノベーションを推進すべく海外企業・研究機関等との協業・連携（業務提携・技術提携・出資・合併事業設立等）をご支援しています。

- ・中小企業の海外展開（輸出、進出）
- ・海外企業や研究機関等との協業連携
- ・スタートアップの海外展開
- ・高度外国人材活躍推進支援（採用から育成・定着まで）

- ① 公務（貿易振興事業、調査研究業務）
- ② 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビルB1F
- ③ 048-650-2522
- ④ 2003年（平成15年）10月1日
- ⑤ 理事長 石黒 憲彦
- ⑥ 世界とつながる。ともに、一歩先へ



海外ビジネスのご相談は是非JETRO埼玉へ！

04

光陽オリエントジャパン株式会社

商社&メーカーの二軸で、魅力ある製品を発信する会社です。高い遮光性と帯電防止性能を併せ持つフィルムなどの商品を数多く輸出販売しています。お客様からの要望を受け、化粧品やサプリメント、健康食品の商品化・製造をサポートするOEM・ODMの事業も手掛けております。メーカー機能としては、自社プライベートブランドを開発・販売する社内ベンチャーを立ち上げ、「光を反射しない黒色塗料」などが柱となる事業として成長中です。

- ① 卸売・小売業、製造業
- ② 埼玉県上尾市東町2-3-2
- ③ 048-783-3341
- ④ 2002年（平成14年）8月1日
- ⑤ 代表取締役 清藤 新一郎
- ⑥ 創造と挑戦



世界一黒い塗料「真・黒色無双」

05

有限会社櫻井運輸

弊社は1964年に茨城県古河市にて茨城県貨物代理店として創業、1975年に法人化して以来、運送事業、倉庫事業というロジスティクス関連事業を柱に職場環境改善事業（熱中症対策のための冷風扇・換気扇のレンタル販売事業）など多角的に事業展開をしております。新たにアップサイクル事業MEGUTAMAをスタートし、農業分野と地域課題の解決にむけて取り組んでいます。

- ① 運送事業、倉庫事業、太陽光発電事業、職場環境改善事業
- ② 茨城県古河市高野903-1
- ③ 0280-92-3188
- ④ 1975年（昭和50年）11月17日
- ⑤ 代表取締役 櫻井 正孝
- ⑥ 人と社会を輪でつなぐ



櫻井運輸

Logistics as a wheel of life.

DATA ▶▶ ①事業内容 ②本社所在地 ③電話 ④設立年月日 ⑤代表 ⑥社はまたはモットー

06

株式会社ティー・アイ・シー

富士通グループ戦略パートナー認定企業として、密接な連携をはかりながら、「公共、文教、医療、金融」などの幅広い分野のシステム構築に関わっています。技術革新が目まぐるしく変化し、市場環境が変化する中、ビジネスパートナーと培ってきた技術力と信頼をもとに、実用的なシステムソリューションの提供に特化し、創業50年の信頼と実績を堅持しています。

- ① ソリューションベンダー
- ② 埼玉県越谷市南越谷 1-16-13
日本生命越谷ビル
- ③ 048-989-2111
- ④ 1972年(昭和47年)1月
- ⑤ 代表取締役社長 栗原 和男
- ⑥ 笑顔になる社会を創造し、笑顔になる自分を見つけた



07

株式会社五光

建設・鉱山機械向けの大型の厚板構造物製造。
町工場の「身なりにあったDX」にチャレンジしています。
溶接ロボット、マシニングセンターなど製造設備、および全従業員に配布したタブレットから取得データを使い、工程改善、進捗管理を行っています。

- ① 製造業(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品
製造業、輸送用機械器具製造業)
- ② 埼玉県さいたま市見沼区大谷
1942番地
- ③ 0296-48-3020
- ④ 1967年(昭和42年)5月6日
- ⑤ 代表取締役 佐久間 拓也
- ⑥ 1.お客様と社会のために 2.技術の探求 3.技術と奉仕 4.人生の場



08

大丸鐵興株式会社

5000t プレスや、15m まで曲げ加工可能な2500t プレスブレーキ。
30t クレーンのある工場では、門型機械加工機3台、横中ぐりフライス盤が稼働中です。DED 方式、LAMDA200による金属積層造形の受託加工や共同研究を募集中です。

- ① 製造業(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品
製造業)
- ② 茨城県猿島郡境町下小橋867-8
- ③ 0280-87-8611
- ④ 1967年(昭和42年)2月25日
- ⑤ 代表取締役 太田 慶樹
- ⑥ 進化しつづけるものづくり



LAMDA 200

新規会員をご紹介ください

ー埼玉大学産学官連携協議会入会メリットー

研究会活動に参加できます

「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「データサイエンス技術研究会」「人と協働するロボット技術研究会」「スタートアップ・新規事業創出研究会」「防災DX研究会」が活動中です。新規研究会テーマも随時募集中です。



産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場を提供します。



埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力を発信する機会である学内合同企業説明会に参加できます。
(年1回)



埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)で随時ご利用いただけます。



最新情報をお届けします

・ニュースレター(年2回発行)
・インフォメーションメール配信
会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



お問合せはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学オープンイノベーションセンター(COIC)内
電話: (048) 858-9064
E-mail: s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp
URL: https://www.saitama-u.ac.jp/research/coalition/kyougi/kyougi_about/

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所	
4	第1回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	埼玉大学	★
5			
6 16(月)	第2回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	ソニックシティビル4階 市民ホール	★
	第26回定期総会・産学官連携事例発表・交流会	ソニックシティビル4階 市民ホール	★
7			
8 21(木)、 22(金)	大学見本市2025～イノベーション・ジャパン	東京ビッグサイト	
9			
10			
11 22(土) ～ 24(月)	第26回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学	★
	JST 首都圏北部4大学(4u)発 新技術説明会	オンライン	★
	第76回埼玉大学むつめ祭	埼玉大学	
12	第3回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	埼玉大学	★
1	彩の国ビジネスアリーナ2026(産学連携フェア)	さいたまスーパーアリーナ	
2	オープンカンパニー	埼玉大学	★
3	第4回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	埼玉大学	★

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官連携協議会

第26回 定期総会

埼玉大学産学官連携協議会の定期総会を開催いたします。
当協議会の益々の発展のため、多くの皆さまのご出席をお願いいたします。

日 時	▶ 2025年 6月 16日 (月) 13:30 ～ 18:00 (予定)
会 場	▶ ソニックシティビル 4 階 市民ホール 401-404
議 題	▶ 2024年度活動報告および決算報告／2025年度活動計画(案)および予算(案) ほか
講 演	▶ 日本経済／埼玉大学の研究トピックスに関する題目にて調整中

※申込方法等、詳細は、別途ご案内をお送りいたします。

新規研究会テーマを
随時募集中です

埼玉大学産学官連携協議会では、本会会員および埼玉大学教職員等が協同し、研究会活動を行うことを支援しております。「具体的な技術課題解決への研究活動」から「研究課題の予備調査」、「公的研究費獲得による産学官連携共同研究のための先行研究」等にご活用いただけます。ご興味のある方は事務局（以下連絡先）までご連絡をお願いいたします。